

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	特進L	地理歴史	地理B	理系	必修	3

講座のねらい

2年次に学習したことを踏まえて、地理的知識・技能ともに、更に深めていきます。授業を通して世界の新しい動きをとらえ、さまざまな諸課題に対して考察する姿勢を身につけ、地理的な見方や考え方を培います。

また、3年次では大学入試対策のために、問題演習も授業で積極的に取り入れていきます。

使用教材及び問題集

教科書『詳説新地理B』（帝国書院）

地図帳『新詳高等地図 初訂版』（帝国書院）

資料集『新詳地理資料 COMPLETE』（帝国書院）

問題集『ニューコンパスノート地理』（とうほう）

授業の内容と進め方

授業は、基本的には教科書の著述に従い進めていき、常時資料集と地図帳を使用します。補足のために、授業内容に関連する資料をプリントで配布することもあります。

授業中、質問によって理解の確認を行ったり、問題演習を行うことで知識の定着をはかることも適宜行います。

また、授業で問題演習を行います。単なる知識の暗記ではなく、答えを導く考え方を身につけるように意識してもらいたいと思います。

講座の到達目標

1. 現代社会の地理的事象を系統的・地誌的に考察できる力を養います。
2. 地理的な見方、考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。
3. 各大学やセンター試験などの入試問題に対応できる力を練成します。

評価の観点・テスト・課題など

評価は定期考査を主とするが、その他授業態度・提出物・小テストの結果なども評価の対象とします。定期考査の内容は平素の授業内容が中心であるが、発展的な知識を問う問題も出題することもあります。

備考

テレビのニュース・新聞など各種メディアを通して、日々、世界や日本の動きを常に意識してもらいたいと思います。また、大学入試を念頭に置き、問題演習の際には知識の詰め込みではなく、考え方を身につけるように努めてもらいたいと思います。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

第Ⅱ章 現代世界の地誌的考察

第3節 国家規模の地域

1. インドネシア—項目ごとに調べる
2. ブラジル—項目ごとに調べる
3. トルコ
4. 国家規模の地域学習を比較・考察する

第4節 州・大陸規模の地域

1. アングロアメリカ
2. オセアニア
3. ヨーロッパ

2 学期 学習計画および学習内容

第Ⅲ章 現代世界の諸課題の地理的考察

第1節 諸課題の地理的考察の視点

第2節 地図してとらえる現代世界の諸課題

1. 地図化して分布形態を読む
2. 地図化してさまざまな事象を分析する

第3節 国家間の結びつきと課題

1. 交通・通信によって結ばれる世界
2. 貿易によって結ばれる世界

3. 国家間の協力関係

第4節 近隣諸国と日本

1. 近隣諸国の研究
2. 韓国
3. 中国
4. ロシア

第5節 環境・エネルギー問題の地域性

1. 世界の環境問題
2. 世界のエネルギー問題

第6節 人口・食料問題の地域性

1. 世界の人口問題
2. 世界の食料問題

第7節 民族・領土問題の地域性

1. 世界の民族問題
2. 領土と領土問題

センター対策中心の入試問題演習

3 学期 学習計画および学習内容